



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社メンタルヘルステクノロジーズ 上場取引所 東
 コード番号 9218 URL <https://mh-tec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 刀禰 真之介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長兼 (氏名) 松浦 優 TEL 03 (6277) 6595
 コーポレート本部担当
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	691	20.5	137	△18.1	134	△10.2	97	△20.2
2022年12月期第1四半期	573	—	167	—	149	—	122	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 97百万円 (△20.2%) 2022年12月期第1四半期 122百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	9.89	9.23
2022年12月期第1四半期	12.78	11.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,476	762	51.6
2022年12月期	1,296	655	50.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 762百万円 2022年12月期 654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,312	11.2	229	△27.0	214	△27.0	171	△24.1	17.40
通期	2,775	21.3	500	35.2	472	36.7	351	32.6	35.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	9,901,300株	2022年12月期	9,835,300株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	23株	2022年12月期	23株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	9,868,433株	2022年12月期 1 Q	9,569,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

当社の第1四半期決算補足説明資料につきましては、2023年5月15日（月）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年末の入国制限の緩和による外国人観光客の増加や3月のマスク着用制限緩和で人流が増加したため、消費活動が活発化したものの、昨年から続く世界的な物価高や各国中銀による金融引き締め長期化の影響をうけ不透明な状況が続いております。

このような状況のなかで、当社グループは、引き続き、安定した収益基盤の構築と持続的な事業の拡大を目指し、当社グループの主要事業であるメンタルヘルスソリューション事業において、クラウドサービス「ELPIS」のサービス強化や顧客サポート体制向上に取り組みました。また、昨年12月に連結子会社化した「株式会社明照会労働衛生コンサルタント事務所」や協業企業との連携を強め、営業基盤の強化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高691,565千円（前年同四半期比20.5%増）、営業利益137,016千円（同18.1%減）、経常利益134,109千円（同10.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益97,553千円（同20.2%減）となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

a. メンタルヘルスソリューション事業

メンタルヘルスソリューション事業では、産業医及び保健師等による役務提供サービスと労働者の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービス「ELPIS」をパッケージ化し、「産業医クラウド」の名称で提供しております。

当第1四半期連結累計期間におけるメンタルヘルスソリューション事業においては、顧客サービス体制の強化、大手企業向けのコンサルティング提案営業の推進などにより、契約件数・売上高を伸ばしております。また、既存顧客へのサービス追加による増額提案活動も実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高501,011千円（前年同四半期比46.3%増）、セグメント利益44,562千円（同17.0%減）となりました。

b. メディカルキャリア支援事業

当第1四半期連結累計期間におけるメディカルキャリア支援事業においては、自治体におけるワクチン接種の体制構築に係る医師紹介等は前年度から継続して売上に寄与したものの、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が一巡したことから昨年同時期と比較すると売上に占める割合は減少しました。一方医師転職案件は紹介先医療機関の掘り起こしに注力した結果売上が回復しつつあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高169,245千円（前年同四半期比19.6%減）、セグメント利益80,564千円（同32.1%減）となりました。

c. デジタルマーケティング事業

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルマーケティング事業においては、制作受注開発の競争激化による受注単価の低迷を受けて、グループ企業向けのマーケティングに事業部内のリソースを集中して参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高21,307千円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益18,701千円（同210.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ179,968千円増加し、1,476,083千円となりました。これは主に金融機関からの資金借入によって現金及び預金が177,380千円増加し、836,891千円となったことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ72,501千円増加し、713,247千円となりました。主な増加要因は、当第1四半期連結会計期間に実行した資金借入によって短期借入金を111,667千円計上したこと、及び長期借入金が138,748千円増加し272,698千円となったこととあります。一方主な減少要因としては未払法人税等が110,347千円減少し24,111千円となったことが挙げられます。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ107,467千円増加し、762,836

千円となりました。これは主に利益剰余金が97,553千円増加したこと、及びストックオプションの行使に伴い
資本金と資本剰余金がそれぞれ4,950千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想については、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、2023年12月期中も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと仮定し、予想数値を算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,511	836,891
売掛金	239,455	256,150
仕掛品	63	55
貯蔵品	3,083	3,237
前払費用	22,920	20,209
未収入金	68,605	57,052
その他	1,723	1,725
貸倒引当金	△5,099	△4,991
流動資産合計	990,263	1,170,330
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	7,847	7,847
減価償却累計額	△1,268	△1,405
建物附属設備(純額)	6,578	6,442
工具、器具及び備品	17,652	18,768
減価償却累計額	△10,665	△11,617
工具、器具及び備品(純額)	6,987	7,151
有形固定資産合計	13,565	13,594
無形固定資産		
のれん	186,913	184,576
ソフトウェア	47,021	48,108
ソフトウェア仮勘定	12,888	16,125
無形固定資産合計	246,822	248,811
投資その他の資産		
出資金	31	31
長期前払費用	3,566	3,185
差入保証金	7,858	22,604
繰延税金資産	34,005	17,525
投資その他の資産合計	45,462	43,347
固定資産合計	305,851	305,753
資産合計	1,296,114	1,476,083
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,523	90,629
短期借入金	—	111,667
1年内返済予定の長期借入金	48,120	87,316
リース債務	1,705	—
未払金	111,194	71,540
未払法人税等	134,458	24,111
未払消費税等	46,573	30,616
契約負債	20,005	14,789
預り金	8,096	3,039
返金負債	1,919	4,439
賞与引当金	1,200	2,400
流動負債合計	506,795	440,549
固定負債		
長期借入金	133,950	272,698
固定負債合計	133,950	272,698
負債合計	640,745	713,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,869	535,819
資本剰余金	521,949	526,899
利益剰余金	△397,939	△300,385
自己株式	△41	△41
株主資本合計	654,838	762,291
新株予約権	531	545
純資産合計	655,369	762,836
負債純資産合計	1,296,114	1,476,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	573,903	691,565
売上原価	196,966	266,636
売上総利益	376,937	424,928
販売費及び一般管理費	209,638	287,912
営業利益	167,299	137,016
営業外収益		
受取利息	1	3
雑収入	—	15
営業外収益合計	1	18
営業外費用		
上場関連費用	16,288	—
新株予約権発行費	—	14
支払利息	637	911
支払手数料	—	2,000
支払保証料	196	—
和解金支払	800	—
営業外費用合計	17,922	2,925
経常利益	149,378	134,109
特別利益		
新株予約権戻入益	—	86
受取損害賠償金	33,960	2,016
特別利益合計	33,960	2,102
税金等調整前四半期純利益	183,338	136,211
法人税、住民税及び事業税	47,934	22,178
法人税等調整額	13,091	16,479
法人税等合計	61,025	38,657
四半期純利益	122,312	97,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,312	97,553

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	122,312	97,553
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	122,312	97,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,312	97,553
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メンタルヘル スソリューション事 業	メディカ ルキャリア 支援事 業	デジタルマ ーケティング 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	342,559	210,375	20,969	573,903	-	573,903	-	573,903
外部顧客への売上高	342,559	210,375	20,969	573,903	-	573,903	-	573,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	-	9,418	9,568	49,951	59,520	△59,520	-
計	342,709	210,375	30,387	583,472	49,951	633,424	△59,520	573,903
セグメント利益	53,696	118,569	6,019	178,286	-	178,286	△10,987	167,299

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に経営指導料であります。
2. セグメント利益の調整額△10,987千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メンタルヘル スソリューション事 業	メディカ ルキャリア 支援事 業	デジタルマ ーケティング 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	501,011	169,245	21,307	691,565	-	691,565	-	691,565
外部顧客への売上高	501,011	169,245	21,307	691,565	-	691,565	-	691,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	-	23,127	23,427	81,226	104,654	△104,654	-
計	501,311	169,245	44,434	714,992	81,226	796,219	△104,654	691,565
セグメント利益	44,562	80,564	18,701	143,829	-	143,829	△6,813	137,016

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に経営指導料であります。
2. セグメント利益の調整額△6,813千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。